



JAXA、当社開発関係者と記念撮影

小型月着陸実証機(SLIM)プロジェクトへの 貢献に関してJAXAから感謝状を受領

明星電気は、月面へのピンポイント着陸技術を実証する「小型月着陸実証機(SLIM)」プロジェクト成功への貢献が認められ、その功績を称える感謝状を、宇宙航空研究開発機構(JAXA)から受領しました。感謝状の贈呈式は9月18日に当社本社(群馬県伊勢崎市)で行われました。

SLIMは、将来の月惑星探査に必要な高精度着陸技術を小型探査機で実証するものであり、「降りたいところに降りる」技術の獲得を主な目的としています。

当社は、航法カメラ、マルチバンド分光カメラ(MBC)、レーザーレンジファインダー(LRF)の3つの搭載機器を担当し、特に画像照合航法で「目」の役割を果たす航法カメラは、「ピンポイント着陸」に大きく貢献しました。MBCは、月表面に露出していると考えられる「カンラン石」を分光観測して組成を決定するためのカメラであり、今後の観測で月の形成と、進化の謎の解明に寄与することが期待されます。LRFはレーザー光を使って、月面からの高度を計測する測距計です。

明星電気は、「測る技術」と「伝える技術」を元に、衛星探査ミッションの成功、日本の宇宙産業の発展に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



熱赤外カメラ(TIRI)

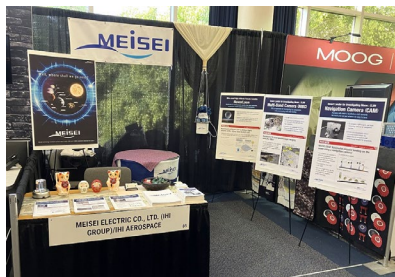
二重小惑星探査計画Hera探査機打ち上げ成功

10月7日(日本時間)、ケープカナベラル宇宙軍施設から二重小惑星探査計画Hera探査機が打ち上げられ、所定の軌道に投入されました。探査機には、宇宙航空研究開発機構(JAXA)が開発し、当社も開発に関わった熱赤外カメラ(TIRI)が搭載されています。

Heraは、欧州宇宙機関(ESA)が実施する小型惑星ディディモスとその衛星ディモルフォスにランデブーする探査計画であり、2022年に米航空宇宙局(NASA)が行った衝突実験の影響や衝突クレーターの形、大きさを詳しく調べます。また、TIRIによる熱撮像によってディディモス連星系の物性や物質、形成過程の解明のための観測が行われます。2026年12月、二重小惑星に到着し観測が始まる予定です。

明星電気は、これからも宇宙の謎の解明に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



当社展示ブース

Small Satellite Conference 2024に出展

8月3日～8月8日、アメリカ ユタ州立大学にて開催された「Small Satellite Conference 2024(SSC)」に出展しました。SSCは毎年8月に開催される小型衛星に関する世界最大の学会併催展示会です。

当社は、小型月着陸実証機(SLIM)の月面着陸成功に寄与した航法カメラとマルチバンド分光カメラ(MBC)、新規開発し実証試験に成功した超小型成層圏観測プラットフォーム(HoverLoon)の模型とパネル展示を行いました。SLIMは月面着陸の話題性もあり当社技術の信頼性の高さを広く紹介できました。また、HoverLoonは衛星等の代わりとなる新たなプラットフォームとして注目を集めました。

本出展を通じて市場のニーズを把握し、将来に向けた更なる改良・性能向上を目指すとともに、今後も革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部、気象防災事業部)

【文中:敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。